

様式第6号（会派用）

## 政務活動実施報告書

令和 4 年 7 月 19 日

村上市議会議員 様

会派名 市声クラブ

代表者氏名 木村 貞雄



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

|             |   |       |
|-------------|---|-------|
|             | 経理責任者氏名                                   | 本間 善和 |
| 用 務 名       | 県産材の間伐材等を活用した発電事業の現地視察について                |       |
| 実 施 日 時     | 令和 4 年 7 月 13 日 (水) 午後 3 時 00 分～ 5 時 00 分 |       |
| 用 務 先       | (株) 花巻バイオマスエナジー及び花巻バイオチップ (株)             |       |
| 参 加 議 員 名   | 木村貞雄<br>山田 勉<br>本間善和 上村正朗(無会派)            |       |
| 全 体 参 加 者 数 | 4 名                                       |       |
| 概 要 及 び 所 見 | ※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。<br>別 紙             |       |
| 備 考         |   |       |



## 県産材の間伐材等を活用した発電事業の現地視察について

### 概要及び所見

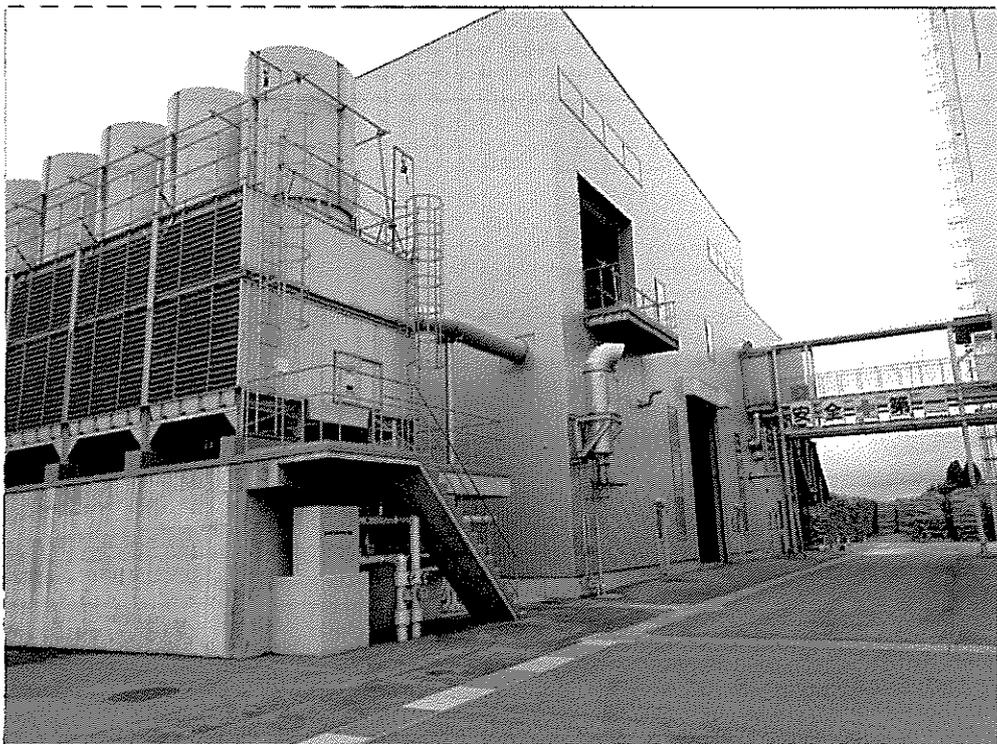
再生可能エネルギーの固定価格取引制度(FIT)を活用し、木質バイオマス発電事業を行う(株)花巻バイオマスエナジーを平成26年に、発電燃料となる間伐材等の燃料を加工し供給する花巻バイオチップ(株)を平成27年に設立しています。

発電事業では年間必要とされるチップ量が72,800トン(含水率40%)、発電規模としては6,250kw、新規雇用の創出として約80名の体制により森林振興、地域の活性化、雇用の創出等を図ることにより地元貢献しています。

ここからは所見ですが、燃料としているチップの原料がこれまで山林に放置されていた間伐材を主とし、未利用材の広葉樹も活用していました。戦後の植林により杉や松の伐採時期を迎えている中で、付加価値が低い間伐材等の有効活用を岩手県と共に連携し、森林振興、新規雇用の創出、地球環境の保全といったSDGsの手本となる取組を進めていることに感銘しました。発電事業の資本金出資者に花巻市も含まれていたことには驚きました。



花巻バイオマスエナジー等視察状況





花巻バイオマスエナジー等視察状況

